

事業所名 PremiumcareCODOMODUSみやび 支援プログラム 作成日 R7 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念		CODOMODUSとは、「道」、「方法論」という意味を持つ、ラテン語のMODUS（モダス・モダス）という言葉と、CODOMO（コドモ）をプラスした造語です。五感を刺激・創造しながらおこさまたちの心・身体・感性を育てていくことを大切に「五感療育」を目指しています。「CODOMODUS（コドモダス）」では、ひとりひとりの発達特性に合わせたプランニングを組み、個別・グループセッションの中で、発達単元を確認していきます。アートと音楽をベースとした芸術療法等のセッションを通じて五感で感じることの楽しさ、興味を引き出しつつ、発達のペースとなる体づくりにも、食や運動の面からサポートしながら豊かな心と感性の発達を促し、社会生活・集団生活への適応能力の向上を図ります。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・おこ様の気持ちや意思決定を尊重し、やりたいこと、得意なことを満足して楽しめる環境を整え、その中でおこ様の可能性や得意なことをみつけ、自分を表現することに自信が持てるように支援します。 ・音楽・アート・料理などの感覚教育を通して豊かな心と体を育てます（協調性、コミュニケーション能力、集中力、問題解決能力、表現力、元気に動く体、気持ちの安定） ・個々のおこ様の困りごと学習上（特に読み書き障害を対象とする）、生活上の困難を改善、克服するために必要なライフスキルを身につけ、就学にむけて身辺自立の確立や一人で行えることを増やしていけるように支援します。 ・おこ様が行動レベルで人間関係に関する知識や人と関わる具体的な方法を学び、よりよい人間関係を築く力を育てます。 ・発達心理学に基づきおこ様に合わせた個別支援のためのアセスメント、心理療法を対話 ・遊戯を通して実施し、環境調整や感情の調整方法、リラックス法なども組み合わせることで、ご本人の課題に対処する支援方法を提案、実践します。（心理支援） ・おこ様の特性に合わせて個別と小グループの組み合わせで支援します。 		
営業時間		平日：11時～19時半（サービス提供時間：13時～19時） 土曜日：9時半～18時（サービス提供時間：10時～17時） *偶数週月曜日、日曜日、祝日は休み *支援時間：2時間	送迎実施の有無 なし	
支援内容				
本人支援	健康・生活	挨拶、体調確認とトイレトレーニング その日の活動スケジュールの把握（内容、始まりと終わりの時間確認、休憩の取り方、行動切り替え活動に必要な物の準備と管理、後片付けなどの身辺自立支援		
	運動・感覚	場面に応じた道具の扱い、素材に触れる、様々な制作工程や調理方法の実践、楽器演奏などの活動を通して目と手指の協応・指先の巧緻性の向上を目指す活動ダンスやリズム運動など全身の動きを伴う遊び五感を使った感覚遊び、様々な表現活動の実感感覚や認知の特性を踏まえて感覚の偏りに対する環境調整の支援（音楽・制作・料理）5感を使った感覚遊び		
	認知・行動	認知の偏りから生じる生きづらさについて環境調整・補助道具（スケジュール表など）の提案と活用の練習。 見本を見て描く、作る、動くなど模倣や観察力を養い、形や空間を捉える力をつける自身のやりたいことや好きなことに取り組む中で自己決定、意思決定の練習五感を十分に活用し、必要な情報を収集して適切な理解や行動を促す支援物の機能や属性、形・色・音の変化と違い、空間・時間・数などの概念形成を図る支援気持ちと行動のコントロール方法の支援行動障害への予防と適切行動への対応支援		
	言語コミュニケーション	挨拶と気持ちのいい声かけの練習自分のしたいことや気持ちを伝える中で話し方、聞き方、傾聴、質問の仕方などの言語受容と表出の練習個々の興味や特性に応じた多様な表現方法を活用し意思伝達や思いを形に表す支援音楽に合わせて体を動かしながら具体的な事物の表現し、その体験と言葉の意味の結びつけながら感情と言葉のつながりの理解、感覚的な言葉を引き出す表現遊び活動終了後に自身の気づきや感想などを書く、話す練習しりとり、絵カードなどを活用した音楽とことば遊び		
	人間関係社会性	役割分担や協力をしながら一つのものを作り上げる経験を積む社会的なマナー、ルールを学び、TP0に応じた適切な行動や発言を集団活動の中で行動に繋げる支援アタッチメント形成のための支援（全活動）遊びを通して社会性の発達。認知発達段階を意識した遊びの中でどのような課題を持って遊んでいるかということ意識して観察を行い、遊びを通して社会性の発達（クワイエット中心療法、遊戯療法、話し合いの機会、合意の練習習慣、指示理解質問等）を促す支援		
家族支援		日々の活動の中のおこ様の様子やよかったこと、気になること、支援内容などの情報共有を行う。ご家庭で取り組めることやおこ様への関わり方の助言を行う。ご家族の意向の確認をし、必要に応じて支援に反映させる。ご家族をおこ様を支援するチームの一員として考え、一緒にできることを考えともに実践していく。心理的視点からの子どものかわり方（兄弟間の関わりも含む）について、ご家族の思いを尊重しながら助言を行う。保護者学習会の開催（発達特性や支援に関すること、将来の選択や進路に関すること、ペアレントトレーニング、保護者様同士の交流など）希望にあわせて実際の支援の様子の見学や個別面談も可。	移行支援	進級、進学、就職などのライフステージの変化や他福祉サービスへの移行時にはおこ様やご家族のご希望に応じた支援情報の共有等を実施。またおこ様の希望やご家族の意向をふまえ、進路選択に必要な情報提供や情報の整理を行い、希望の進路に進むために必要な取り組みを支援。
地域支援・地域連携		おこ様やご家族の意向に応じて、学校や医療機関などの関係機関と連携、必要な情報を共有し、得られた情報を事業所での支援や個別支援計画の作成に活かす。学校と合理的配慮や環境調整について連携の実施。展示会の開催や作品を施設外に公表する活動を通して地域の方と交流する機会を作っている。	職員の質の向上	社内研修会の定期的な開催と、支援に必要な情報を得るために外部研修会へ積極的に参加し、情報の収集やアップデートを行っている。
主な行事等		日々の取り組みの成果や作品を発表する展示会を年1回開催（作品展示・ギャラリートーク・研究発表・カフェなど） 音楽発表会を年1回開催（会場もしくは動画発表）		